2023年1月17日(火) 第2回説明会

研究インテグリティの確保と大学法務 九州大学の取り組み

九州大学法務統括室 佐藤 弘基

hir-sato@qilo.kyushu-u.ac.jp



「研究インテグリティ」の確保に向けて

九大対応方針:研究倫理の徹底とコンプライアンス体制の強化

① 2022年1月

- ① 研究倫理の徹底に向けて
- ☞ 引き続き研究倫理教育を推進することで徹底をはかる。
- ② コンプライアンス体制の強化に向けて
- A)学内関係規定及び管理体制の整備
- ☞ 研究インテグリティの確保に資する学内規則・制度等を取りまとめたポータルサイトの整備

B)研究インテグリティの確保に対応するための情報の共有化

- ☞ 各部署、部局でそれぞれに管理している情報(研究活動や人材に関する情報)を 大学(法人)として一元的に俯瞰し確認できるよう共通システムの整備
- ☞ 大学(法人)主導で社会環境の変化に伴う新しい事象(法律等)に対応できる体制※ 2022年5月施行のみなし輸出管理の改正への対応は喫緊の課題。

A)学内関係規定及び管理体制の整備



受験生 在学生 企業・研究者 地域・一般 卒業生

危機管理

ニュース イベント 九州大学について 学部・大学院等 入試・入学 教育・学生支援 研究・産学官民連携 国際交流・留学



<カテゴリー>

・九州大学の構成員として

- ・研究成果や企業から情報資産を得たとき
- ・産学連携をするとき
- ・実験教育研究をするとき
- 不正について

(事項例)

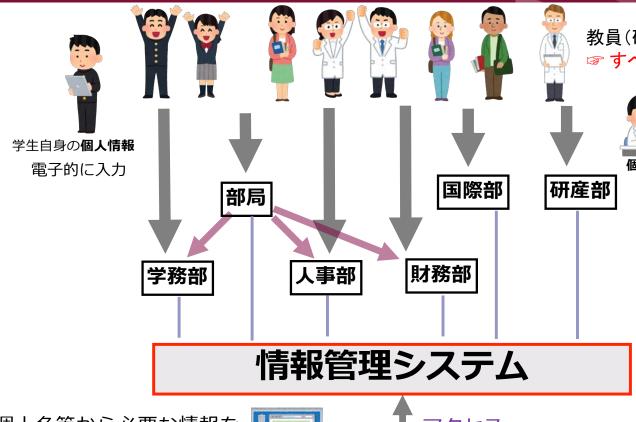
職員としての遵守事項・倫理 ハラスメント防止

兼業

適正な研究活動の推進

それぞれの事項について、**概要(ハンドブック等)、** 申請フォーム、研修e-learning、学内規程を掲載。

B)研究インテグリティの確保に対応するための情報の共有化



個人名等から必要な情報を 網羅的に確認可能



アクセス

個人情報管理担当者

指示

国立大学法人(執行部(役員))

教員(研究者)、事務職員、学生、留学生、非常勤職員・・・ ☞ すべての九大構成員が対象

情報を(大学に)開示

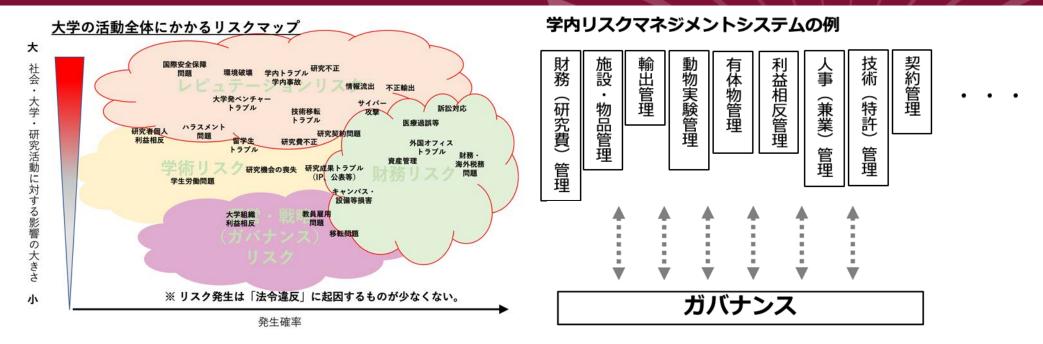
電子的に入力

個人情報に加えてインテグリティ確保(研究者の人 事及び組織のリスク管理)に必要とされる情報

- ・ 職歴・研究経歴
- ・ 兼業等の所属機関・役職
- ・ 外部からの研究資金
- ・ 研究資金以外の支援(無償で研究施設・設備・機器等の物品の提供や役務提供を受ける場合を含む。)
- ・ 支援の相手方

「研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクに対する研究インテグリティの確保にかかる対応方針について」令和3年4月27日、統合イノベーション戦略推進会議決定より抜粋。

KYUSHU UNIVERSITY 大学のリスクとリスクマネジメントシステム(RMS)



それぞれのリスクマネジメントシステム(RMS)で情報を入手し それぞれで対応する仕組み



⇒ 新たなリスク・未知のリスクに対処するための RMSはどう構築するのか?

新たなリスク・未知のリスクへの対応

リスク軽減の観点から新たに確保が求められる研究インテグリティ

研究の国際化やオープン化に伴う新たなリスクレ対し、 対応を進める部分

> 産学連携による利益相反・責務相反に対する適切な対応や、 安全保障貿易管理等の法令順守などに関する部分

不正行為(捏造、改ざん、盗用) への対応としての部分 その他不正行為(二重投稿、不適切なオーサーシップ)への対応としての部分

新たなリスク・未知のリスク

大学や研究の国際化や学際化による多様性を 推進することによって発生しうるリスク

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局「研究インテグリティの確保に係る対応方針 (概要)」(令和3年12月)より

新たなリスク・未知のリスクに 適切かつ迅速に対応するためには

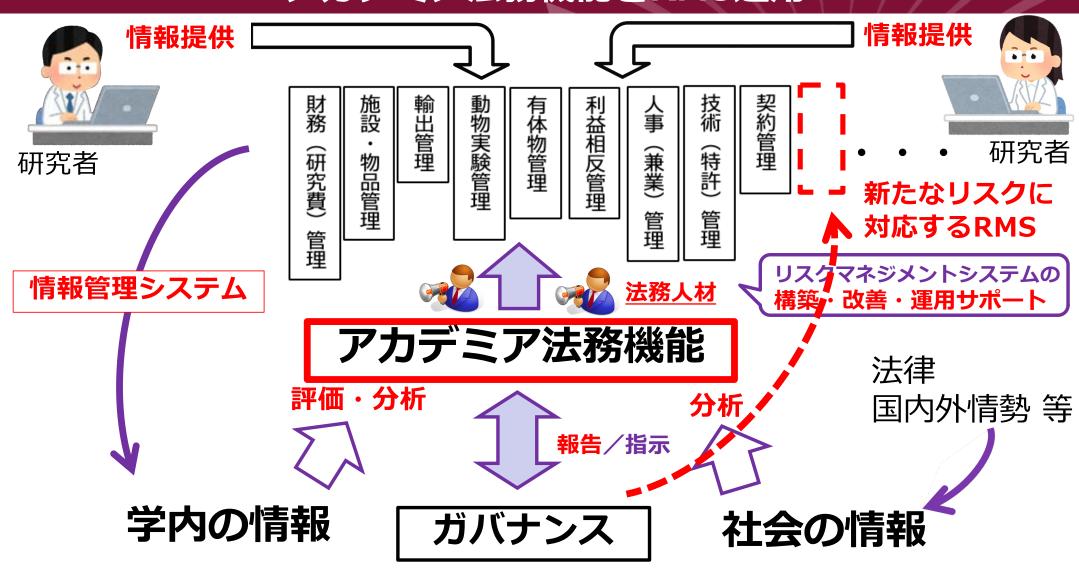
学内の情報・学外の情報(法律・社会情勢等)を**集約・分析し** リスクを予測、対処を検討する機能が必要

アカデミア法務機能

を進めてきた部分従来、明示的に対応



アカデミア法務機能とRMS運用





アカデミア法務人材に求められるもの

- 法律の知識 + リーガルセンス
- 大学と研究者に対する理解

研究インテグリティ確保において**アカデミア法務人材(法務機能)が担うこと**

社会情勢や法律に加え学内を理解・分析し

大学に適切なリスクマネジメントの形を探る

KYUSHU UNIVERSITY

九州大学法務統括室の紹介

法務統括室体制

※ 旧・国際法務室を発展させて設置(2019年)

(法務))+輸出管理統括責任者(理事・副学長(法務・国際)

法務統括室スタッフ(教員系)

・主に予防法務を担当

法務・コンプライアンス課(事務職) ・・・主に臨床法務を担当

予防法務 業務内容

法務業務

契約支援 契約書案作成、確認、交渉支援、等 法務相談 契約前調整、紛争の未然防止、等 その他 学外相談、法務調査、等

安全保障管理

輸出管理(外為法対応:貨物、技術(スパコン等)) 外国人研究者・留学生の入口管理(受入審査) 国際研究受入管理→契約書確認に含む

その他 (研修、情報収集等)



その他

473件

465件

外国人 17%

合計 938件

臨床法務

訴訟対応 研究不正(通報)対応 トラブル対応 等



大学本部・椎木講堂内 (伊都キャンパス) http://gilo.kyushu-u.ac.jp